



平成 30 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 東 海 運 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 長 島 康 雄  
(コード番号：9380 東証第一部)  
問 合 せ 先 総 務 法 務 部 長 藤 井 豊 久  
(TEL. 03-6221-2201)

## 『将来のありたい姿』と『新中期経営計画』の策定に関するお知らせ

当社は 2017 年 12 月におかげさまで創業 100 周年を迎えることができました。これもひとえに株主の皆様をはじめ、関係各位のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

このたび次の 100 年に向けた『将来のありたい姿』を策定するとともに、2018 年度から 2020 年度までの 3 ヶ年を対象期間とする新中期経営計画『Azuma Challenge Next100 ～新たな 100 年へ』を策定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### I. 『16 中期経営計画』の総括について

当社は 2014 年からスタートした 16 中期経営計画において、グループの進むべき方向性として「すべてのステークホルダーの満足度向上」を掲げ、重点施策（事業基盤の再構築、新規事業の創出、人財の育成）を中心に企業価値の向上に取り組んで参りました。

計画期間中は中国経済成長の減退やロシア経済の低迷及び国内セメント需要の飽和感など厳しい事業環境となり、2016 年度の目標としていた経営指標においては、達成を果たすことができませんでした。主力である海運事業とコンテナターミナル事業におけるプレゼンス維持、倉庫業・通関業における AEO 認証取得、アグリ事業への本格参入開始、ミャンマーへの進出、従業員のビジネススキル底上げなどの成果をあげることができました。

一方、コア事業のプレゼンスを揺るがす恐れがある労働力不足対策、依然として存在する不採算事業の改善などに課題を残すとともに、今後の国内物流市場の縮小に備え、新規事業の創出やグローバルサービスの充実が急務となっております。

#### II. 今後の事業環境について

当社を取り巻く事業環境として、国内では人口減少により市場が縮小していくなか、2020 年以降の日本発着貨物の減少、AI や IoT の進化に伴う物流企業のビジネスモデルの変化が見込まれます。また海外においては貿易と投資の自由化や新興国経済の成熟が進むなか、当社のお客様である荷主企業が、常にグローバルサプライチェーン最適化のための変化を続けていくものと想定しております。

### Ⅲ. 『将来のありたい姿』の策定

『16 中期経営計画』の総括と今後の事業環境の変化を踏まえ、将来にわたって持続的な成長を遂げるため、新たに『将来のありたい姿』を策定いたしました。

当社グループが事業を展開する市場だけではなく、株式市場や労働市場においても、当社グループがより多くの方々に魅力的であると認識され、選ばれる企業になるために、『環境変化への適応』『最新技術の取込み』『事業領域の拡大』の3つを長期的な課題として示し、より具体的な方針は中期経営計画などを通じて打ち出していまいります。

#### ◆ 『市場と顧客に選ばれる企業』

1. 環境変化への適応
2. 最新技術の取込み
3. 新規事業の創出

### Ⅳ. 新中期経営計画 『Azuma Challenge Next 100 ～新たな100年へ～』

#### 1. 基本方針

次の100年に向け、「挑戦」を続ける新たな社風を作り上げるため、意識改革とその土台作りを着実に実行する「3年間」とします。

#### 2. グループ重点課題

##### (1) 企業風土の変革 ～従業員が幸せを感じる企業～

- 労働環境の向上
- 人財育成
- 管理コストの削減
- 新たな社風への土台作り

##### (2) グループ営業力の強化 ～拡大注力・成長育成事業の国内外連携による収益拡大～

- 倉庫・不動産（拡大注力事業）の拠点拡大
- 海外事業（拡大注力事業）の収益拡大
- 環境関連事業領域（成長育成事業）の確立
- 新規事業（成長育成事業）の創出

##### (3) 6事業領域の充実 ～事業領域別戦略実行による事業基盤の維持拡大～

- 海上輸送事業領域：重要顧客の商権確保
- 港湾事業領域：重要顧客の商権確保
- 国際輸送事業領域：収益拡大策の実施
- 倉庫・不動産事業領域：稼働率の向上
- 陸上輸送事業領域：採算性の追求
- 環境関連事業領域：事業拡大の為の体制整備

#### 3. 連結数値目標

	2017 年度予想	2020 年度計画
営業収益	401.5 億円	440.0 億円
経常利益	7.0 億円	10.5 億円

以上

# Azuma Challenge Next100

## 計画概要



東海運株式会社  
AZUMA SHIPPING CO., LTD.

経営理念

『お客様に最適な物流サービスを提供する総合物流企業を目指し社会に貢献するとともに、企業価値を高める。』

将来のありたい姿

『市場と顧客に選ばれる企業』

1. 環境変化への適応
2. 最新技術の取り込み
3. 事業領域の拡大



## 「Azuma Challenge Next 100」～新たな100年へ～

### 【基本方針】

次の100年に向け、「挑戦」を続ける新たな社風を作り上げるため、意識改革とその土台作りを着実に実行する「3年間」とする。

≪計画のコンセプト：各事業領域に対する「選択と集中」を明確化し、計画を確実に達成する≫

1. 「企業風土の変革」を計画全体の根幹と位置づける。
2. 拡大・成長を見込む事業領域への積極的な設備と人財の投資を実施し、グループ重点課題の達成を下支える。
3. 中長期的な事業採算性を改善させるために、聖域を設けない抜本的な対策を実施する。

# Azuma Challenge Next100

## 到達数値目標



東海運株式会社  
AZUMA SHIPPING CO., LTD.

### 【グループ重点課題】

【16中計を終えて残された課題】

事業基盤の再構築  
➢ 安全と安定の担保  
➢ 営業機能の強化

新規事業の創出  
➢ 海外事業の収益拡大

人財の育成  
➢ 人財のレベルアップと確保

企業風土の変革

グループ営業力の強化

6事業領域の充実

2020年度到達目標

営業収益 440億円

経常利益 10.5億円

「拡大注力」「成長育成」事業への積極的投資（基盤作り）  
国内倉庫事業拡充、ITシステム構築、海外事業の収益拡大、等